

行田歴史めぐりコース



使用自転車：T社の知バイク
 P社のドバイク
 走行距離：約30km
 所要時間：4時間
 難易度：★★★★

①ここからスタートします！ 古代蓮の里

古代蓮の里は、行田市の天然記念物に指定されている「古代蓮」をシンボルとする公園です。敷地内には古代蓮池、世界の蓮園、水生植物園、水鳥の池、トイレ、駐車場、古代蓮会館、売店およびうどん店などがあります。

行田鎮（古代蓮）は、昭和46年に発掘施設を建設するための造成工事中に、埋まっていた地中から種が自然発見されたもので、原始的な形態を持つ1400年～3000年前の蓮であると言われています。



古代蓮会館に展望台があります



古代蓮の開花時期は6月～8月です

②彫刻群が出迎えます さきたま緑道

JR北鴻巣駅前の鴻巣市赤見台近隣公園から、試験水路に沿って、さきたま古墳公園に至る4.5km、幅員25mの新歩道と自転車道のある緑道です。

奇麗で快適な、花とみどりあふれる雰囲気の中で、いにしへの緑のみちとして整備され、平成元年11月に全線が開通しました。

平成元年に開業された「第4回国民文化祭さいたま'89」にもない製作された、「さきたま」の地にふさわしい彫刻50点が沿道に展示されています。



自転車道と歩行者道が分離され、快適に歩けます。



お寺の彫刻台公園

③忍城と並ぶ「のぼうの城」の舞台！石田堤

石田三成が忍城を水攻めにしたときに築造したのが「石田堤」です。

堤防上には松が林立し、まるで自然遊歩道のように見える姿が歴史を感じさせます。

ちなみに、大掛かりな土木工事であったことがわかりますが、旧忍城からはかなり離れており、この程度の高さの堤防では、「水城」と呼ばれた忍城を落とすことができないのは誰にでも分かる気がします。



石田堤



さきたま緑道にある案内標識

石田堤大橋

④忍川に残る昭和初期の橋

堤切橋は昭和8年に元荒川の改修事業で建設された橋梁の一つです。

一見すると3スパンのように見えますが、側空間は橋台の一部となっており、実際は1スパンのラーメン橋台橋です。

橋下には、半楕円形の橋脚と三角形の橋脚がリズムカルに配置されています。

親柱には、この時代の他の橋梁と同様に、意味不明の幾何学的な模様が彫られ、当時の土木技術者の遊び心がうかがえます。



堤切橋（上流側から撮影）



幾何学模様の彫刻

⑤忍川の古レールアーチ橋群

忍川には、古いレールを使用したアーチ橋が7基も残っています。

「堤切橋」の上流側に位置し、なぜか両側の田圃無状と古いレールのアーチ橋がうまくマッチして、のどかな感じがします。

床版は、古いレールを使用した桁の上にコンクリート板を乗せたもので、橋干の高さが低いことから、従全体としてスレンダーな感じがします。

昭和8（1933）年完成で、土木学会選奨土木遺産となっています。



同ころの橋もレールアーチ橋です



道と古は風をつけて

⑥さきたま古墳公園で休憩 & ランチ

さきたま古墳公園でランチを食べてみました。駐車場の前にあるうどん屋です。個人的なおススメは「肉汁うどん」です。「さんびら」もつけました。美味しいのでぜひ食べて下さい。

食事についてデザートです。行田と言えば8級グルメでおなじみの「セリーフイ！」



「肉汁うどん」と「さんびら」食べて美味しい！



写真はチョコパニョ。いろいろの種類がありました。

⑦89歳のトラス橋 秩父鉄道 見沼代用水橋梁

見沼代用水に架けられた秩父鉄道のポニーワレントラス橋です。

ワレントラス橋の中でも、左右の主橋のみで上橋脚がないものを「ポニーワレントラス」と呼びます。

秩父鉄道の前身である北部鉄道の子会社として、大正10年に完成したものです。

このトラス橋は、明治時代に作られたものを転用しているようですが、維持管理がきちんと行われているせいか、全体的にそれほど古い感じは

しません。むしろワレントラス特有のぐらりした車輪感を醸し出しており、最近の橋梁よりも安定感があります。橋台はレンガ造りとなっており、時代を感じさせます。



上流側から撮影

⑧利根大堰に到着！

やっとの思いで利根大堰に到着しました。

利根大堰は試験水路、見沼代用水などへ導水するために、1968年に完成しました。この水は、上水道や灌漑、余剰水を利用し水質浄化などにも使われます。ちなみにさいたま新都心の下をこの水が流れています。

この施設には無料の大堰自然の観察室が併設されており、サケの遡上を間近で見ることが出来ます。



利根大堰



頂上側の記念写真です

